

整理番号 S-77

出 展 織物欠点解析事例集(第 2 集)

欠 点 名 たて筋(ラメ糸切れ)

品 名 ラメ入り絹ジョーゼット

試料形態 織物

組 織 平

糸 使 い

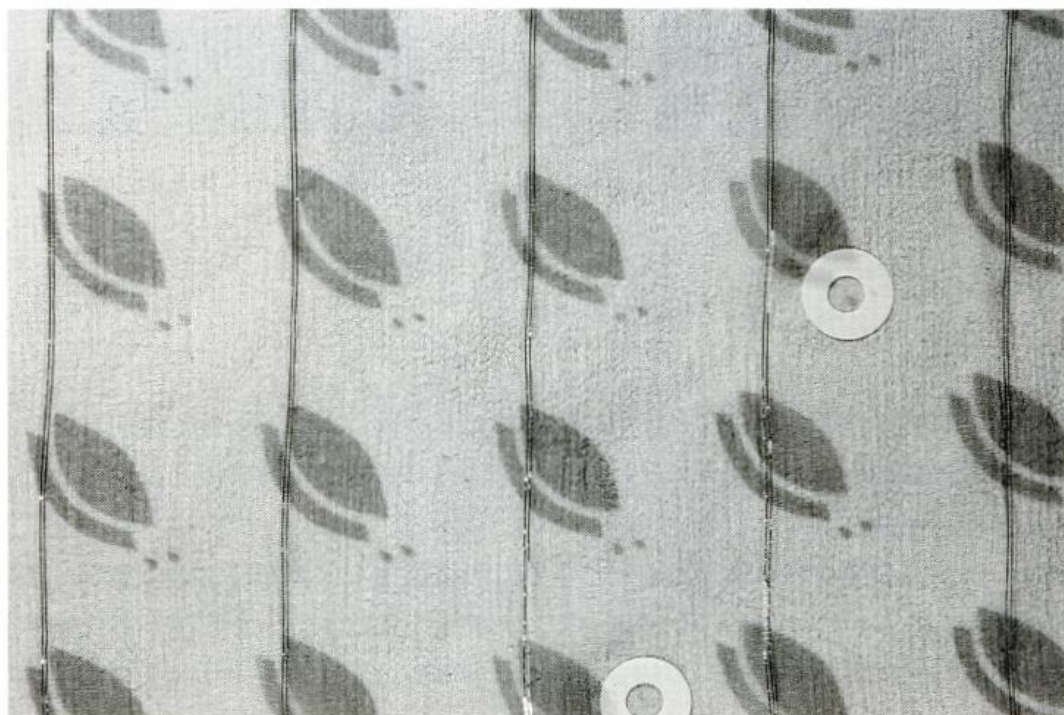
たて糸:生糸 28 中 (S,Z)3,000T/m + ラメ糸

よこ糸:生糸 28 中 (S,Z)3,000T/m

欠点発生状況

たて糸に約 4cm 間隔で 2 本ずつの金色ラメ糸が入っている捺染絹ジョーゼットの仕上り品である。
地糸は異常がないが、ラメ糸が所々で切れている。

試料写真



試験結果

(1)強伸度測定

ラメ糸の強伸度試験

(1) 仕上り品

133gf	121.0 %
132	117.0
→39	2.0
→98	62.0
→62	3.0
→38	1.5
126	132.0

(2) 生 機

132 gf	113.0 %
128	111.0
118	95.0
133	116.0
131	111.0

(2)マイクロスコーブ観察



写真 1 ラメ糸の異常部分



写真 2 同左拡大部

所 見

顕微鏡で観察すると、地糸には異常が認められないが、ラメ糸の数本が切れている箇所があり、また、写真に見られるように融けたような状態の部分が所々に見られ、その部分の強伸度が極端に弱くなっている。

生機では、ラメ糸の強伸度に異常がないことから、染色加工工程で何らかの異常な状態となったものと考えられるが、ラメ糸は全体としては光沢も正常であり、また地糸には異常がないことから、薬品などによる全面的な溶解ではなく、局部的にラメ糸のポリエステルフィルムが溶融したのではないかと推察される。